

# アツク大きな揺れ

## 目ごころの備えと行動で被害を最小限に

4月に発生した熊本地震では、震度7の激しい揺れに襲われ、今もなお市民生活に支障をきたしています。一方、千葉県が5月に発表したマグニチュード7.3の東北西部直下地震の被害想定では、本市は震度6の揺れになるとしています。

手段の混乱、火災などで、行政の支援である「公助」がすぐに行き届かない可能性があります。地震による被害を最小限に抑えるには、自分で取り組む「自助」と地域で取り組む「共助」が不可欠です。あなたの備えは十分ですか。地震への備えについて、一度、家庭で、地域で話し合ってみましょう。

☎704-0065 地域防災課

### 自助 備えよう

災害時の被害を最小限に抑えるためにも、非常持ち出し品・備蓄品の準備や避難所の確認をしましょう。

#### 非常持ち出し品・備蓄品の準備をしよう

非常持ち出し品は、避難する時に持ち出す最小限の必需品をリュックなどに入れ、備蓄品は行政の支援が届くまでの1週間を暮らせるように、備えておきましょう。

#### 避難場所を確認しよう

下記各マップは地域防災課で配布している他、市公式Webサイトで確認できます。



▲減災マップ



▲多言語防災ガイドマップ

#### 耐震診断をしよう

木造戸建て住宅および分譲マンションの耐震診断には、市の補助制度を利用できます。昭和56年以前に建てられた建築物は特に注意が必要です。なお、診断の結果、耐震改修をする場合にも、市の補助制度があります。

☎712-6337 建築指導課

#### 普段からの買い置きが役に立ちました



ほづか 程塚 堯子さん

東日本大震災で塩浜地区が液状化し、約1週間断水しました。自宅に被害がなく下水道も使えたことから、自宅を避難場所として備蓄品を活用する「在宅避難」をしました。備蓄といっても特別な非常食ではなく、普段から冷蔵庫や冷凍庫、台所の食材置場にレトルト食品や缶詰、冷凍食品などを多めに保管し、食べたら買い足す、という普段の食料を循環させるようにしています。

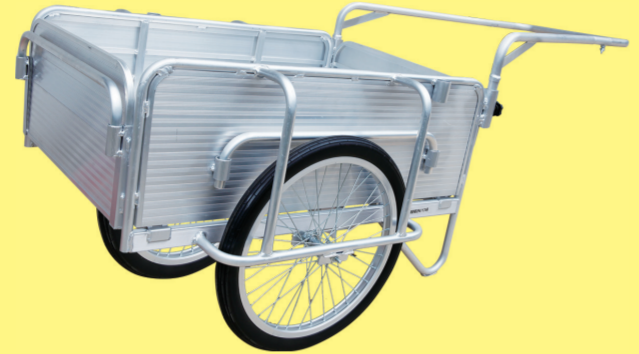


▲賞味期限が大きく書いてあるので、一目でわかる

### 共助 地域で助け合おう

大規模な災害が発生した場合、個人や家族だけの力では限界があり、隣近所の人がお互いに協力しながら共に助け合うことで、被害を最小限に抑えることができます。このための組織が「自主防災組織」です。市内では、自治会やマンション単位など、現在212カ所で結成されています。

災害時にこの自主防災組織が効果的に活動し、被害を最小限に抑えるために、地域がどのような人たちが構成されているかをよく知り、それに合わせた訓練や資機材の準備を行う必要があります。地域での訓練の仕方など、詳しくはお問い合わせください。



▲災害時、車の通行できない所では、皆で引っ張るリヤカーが活躍します

#### 自主防災組織で地域の防災意識向上を

市川中山団地 自治会長 依岡 顕明さん



20年前前から、自治会で自主防災組織を結成しています。倉庫にはスコップや消火用具のほか、市の補助金で購入したリヤカーなどもあり、毎月の点検と動作確認を欠かさず行っています。防災訓練は、地域の高齢化などもあり、自治会単独で訓練するより、市の総合防災訓練に参加し、防災の意識やノウハウを学ぶことを主体としています。昨年は自治会内から50人が参加、今年は100人を目標に市の訓練に参加し、地域の防災意識向上につなげたいです。



▲元消防士の住民が災害時のロープの活用方法を教えるなど、住民間の連携も

### 8/28日 訓練に参加しよう

#### 平成28年度総合防災訓練

災害時に落ち着いた行動をとるためには、災害発生時に何をすべきか、みなさん一人ひとりが日ごろから考えておくことが大切です。災害への備えについて考えるきっかけに、近くの訓練に参加しませんか。下記の①～④の訓練は、いずれも申し込みは不要です。直接会場にお越しください。



▲力を合わせて火を消そう

#### ① 初動対応訓練

壊れた家からの救助・救出や、身近にあるものを使用した応急救護の他、地震体験車による震度体験、初期消火訓練などを行います。

時間 午前9時～10時(雨天中止)  
場 第六中学校

#### ② 避難所開設運営訓練

高齢者や妊婦など、災害時に手助けが必要となる要配慮者・避難者やボランティアの受け入れ、救援物資の受け取り、炊き出しなどの訓練を行います。

時間 午前10時～正午(雨天中止)  
場 鬼高小学校(上履き持参)

#### ③ 避難所体験訓練

避難者要配慮者やボランティアの受け入れなどの訓練を行います。

時間 午前10時～正午(雨天中止)  
場 北方新浜曾谷・信篤福栄市川小学校(上履き持参)

#### ④ 野営体験訓練

市川災害ボランティアネットワークによる指導のもと、炊き出しやテント設置、ロープワークなどの訓練を1泊2日で行います。

日 8月27日(土)午後3時～28日(日)午前9時  
場 大洲防災公園  
人 先着30人  
申 8月26日(金)まで ☎326-1284 ボランティア課



▲非常食を使った炊き出し訓練

### 自助 情報を得よう

災害発生時、市はさまざまな手段で迅速に情報を発信します。日ごろから登録・確認しておく、災害時の情報収集に役立ちます。

#### 防災行政無線

市内207カ所に設置しているスピーカーから、災害時に緊急情報を一斉にお知らせします。また、放送内容を防災行政無線テレホンサービスや市公式Webサイトなど、さまざまな手段で確認できます。



▲災害時はメール情報配信サービスでも放送内容を確認できます

#### 市公式Webサイト



▲災害時には、市内の状況やライフライン情報などをタイムリーに掲載

#### 市公式ツイッター、フェイスブック



▲拡散効果のあるフェイスブックを活用し、より多くの方に災害情報を発信しています

#### 携帯電話会社各社の緊急速報メール

#### メール情報配信サービス 要登録

- テレビ (J:COM市川/デジタル11ch)
- ラジオ (いちかわエフエム/83.0MHz)

**メール情報配信サービスの登録方法**

[entry@ichikawacity.jp](mailto:entry@ichikawacity.jp)

または右記のQRコードから空メールを送信し、送られてくるメールに記載されているURLをクリックしてください。配信項目は、登録後に変更できます。なお、メールの受信には通信料がかかります。

☎334-1107 広報広聴課